

## 3-6 水辺周辺エリア



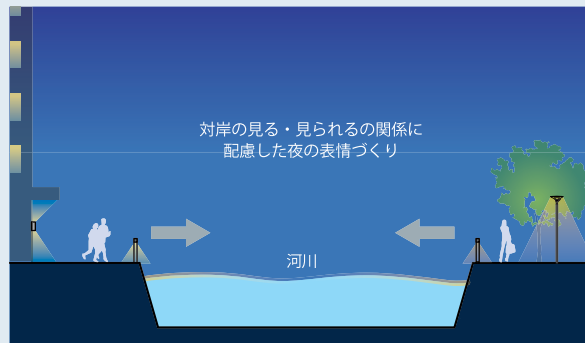
## 癒しとロマンの源流

世界の美しい夜景都市の多くには美しい水景が存在します。水と光はとても相性が良く、小倉都心地区を流れる河川もたくさんの魅力創出の可能性を持っています。これまでの水辺整備により形成されてきた美しい水辺の景観を積極的に活用して、あかりの見せ方や水面への光の映りこみをデザインすることで、水辺を歩きたくなる、魅力的な夜間景観づくりが望まれます。



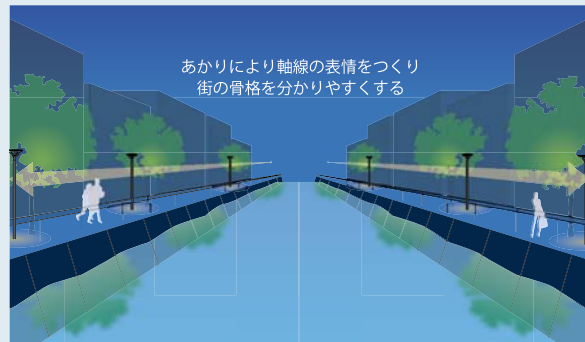
## 水辺のあかり

## ■ 見る・見られるの関係



水辺の夜間景観をつくる際は、対岸から見た光景を意識することが大切です。

## ■ 軸線の表情づくり



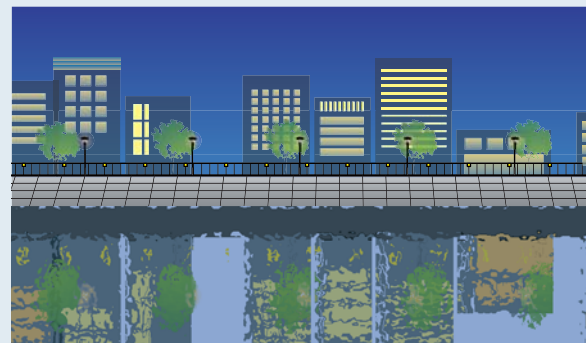
水辺の散策路などのあかりの整備を行い軸線を明確にすることで来訪者にもわかりやすいまちづくりを行うことができます。

## ■ 祭事の演出



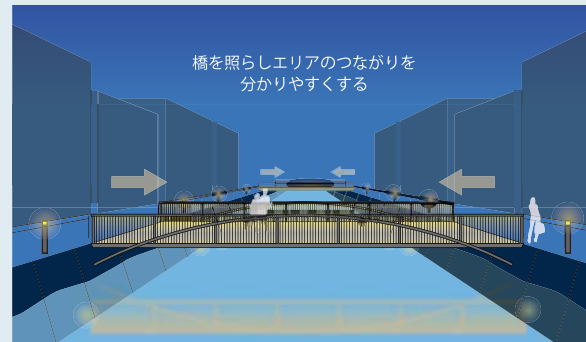
お祭りや季節の彩を感じられる時季には、仮設の行燈などを利用することで水面に映るあかりが地域の魅力を高めることができます。

## ■ 水面に映る街の姿



水辺の建物や空間ひとつひとつのあかりが集まりまちの魅力ある水景をつくり上げています。

## ■ 対岸をつなぐあかり



対岸をつなぐ橋梁などをあかりで明確にすることで、エリアとエリアをつなぎ人々の回遊性を高めることができます。

## ■ イルミネーションの演出



水辺の樹木などを活かしたイルミネーションを行うことで、水面への映りこみを利用した幻想的な世界を創出できます。

## 3-7 室町周辺エリア



## 歴史にふと思いを馳せる空間

常盤橋をはじめ旧長崎街道の歴史を感じるエリアです。歩行者を優先した常夜灯の整備や歴史を感じさせるような照明の設置を行うことで、レトロな建物や懐かしいまちなみが残る景観を活かしていきたい場所です。西小倉駅から勝山・小倉城エリアや水辺周辺エリアへと繋がる、回遊性のある夜間景観づくりが望まれます。



## 素材とあかり

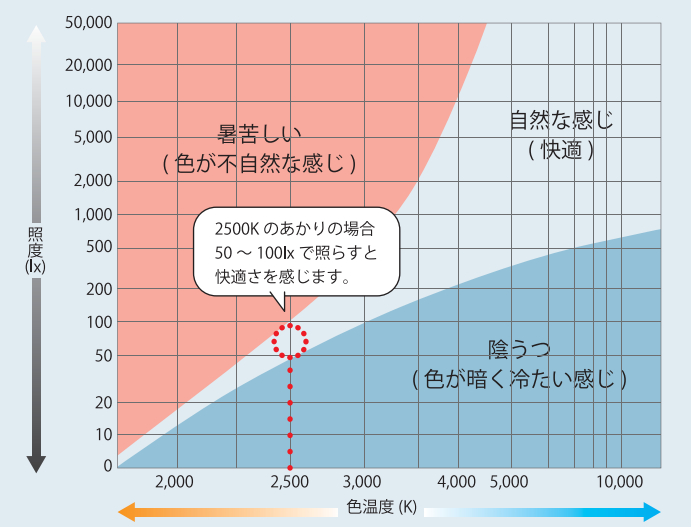
あかりの色（※詳細は 6-2 色温度、6-3 色偏差 参照）の違いによって、同じ素材を照らす場合でも違った色に見えます。そのため、照明計画を行う場合は照らす対象物や、その場所の特徴を考慮し、目的に応じたあかりの色を選択することが重要です。また、あかりの色の違いにより人が「快適」と感じる明るさが異なるため、その場所のあかりの色に適した明るさの照明器具を選択するようにしましょう。

## ■ あかりの色の違いによる印象の変化



色温度の低い赤みがかったあかりで石畳や木造建築を照らすことで歴史を感じる雰囲気演出できます。

## ■ あかりの色と照度（明るさ）の関係

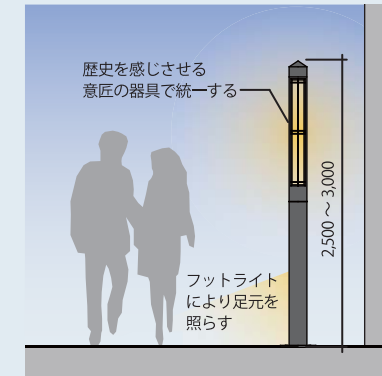


2500Kの赤みがかったあかりを用いる場合、上図のように50lxから100lxの間の照度（明るさ）で照らすことで快適な空間を創出できます。



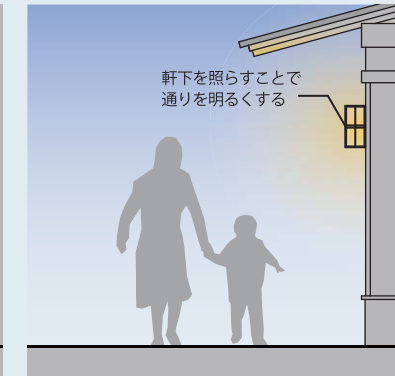
## 歴史ある通りのあかり

## ■ 歩行者に優しい照明環境



ヒューマンスケールのあかりは歩行者にとって安心して快適な照明環境を創出できます。

## ■ 通りの一体感をつくる



民間施設の軒下などに統一した意匠の器具を設置することで通りの一体感を創出できます。

## ■ 小路のあかり



小路などは足元を照らすあかりを配置することで暗がりを減らすことができます。

### 3-8 勝山・小倉城周辺エリア



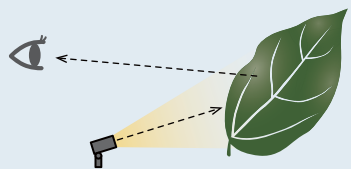
#### 小倉城から広がる城下のあかり

現代と昔が融合した不思議な魅力を持つエリアです。歴史的建造物と近代建築を囲むように緑があり、都心にいながら豊かな自然を感じることができます。夜間にも散策や運動を行う人が多いため、安全性が高く季節感のある夜間景観の創出が望めます。



#### 豊かな自然を活かすあかり

##### ■ 葉の性質に応じた照らし方

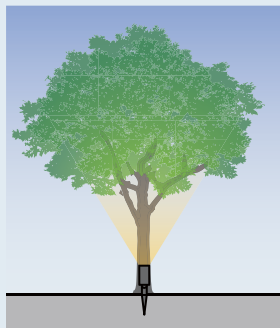


常緑樹のように、葉に厚みのあるものを照らしたり表面の色、艶を見せたいときは、視線に対し葉の表面を一方に照らすときれいです。

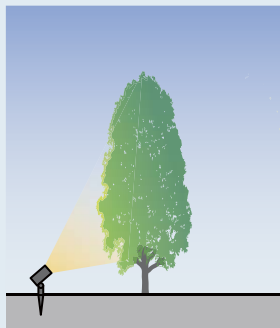


落葉樹のように葉の厚みが薄いものは、視線に対し葉の背面から照らし透け感や特徴あるシルエットを引き立てます。

##### ■ 樹形に合わせた照明手法



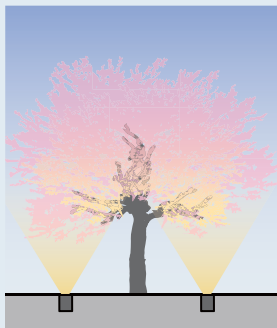
枝ぶりが広く葉の密度がある樹木は幹に沿う形で照らし内側に光を溜めます。



表面にツヤのある樹木は葉の表面を照らしあげて樹木の形を強調します。



冬の落葉した樹木は生態系保護の観点や光害を防ぐためライトアップはやめましょう。

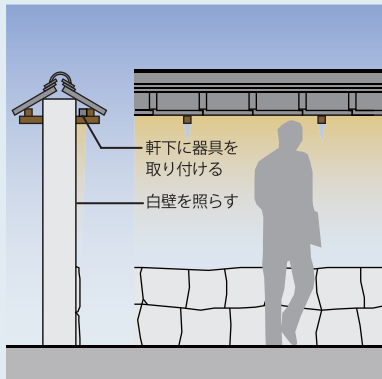


枝ぶりが横に広い樹木は広がり全体的に照らしあげて樹形を浮かび上がらせます。



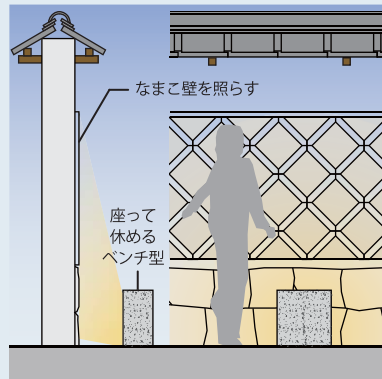
#### 歴史情緒を感じるあかり

##### ■ 白壁の美しさを引き立てる



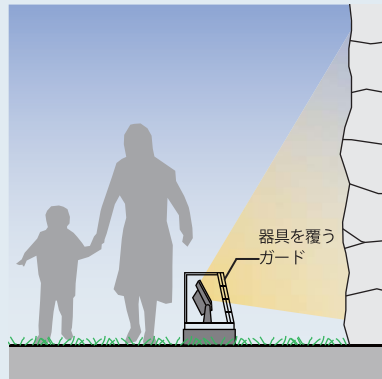
軒下などに照明を組み込むことで器具の存在感を無くすことができます。

##### ■ 建築の表情を見せる



ベンチ型照明で、なまこ壁を照らすと通りに建築の豊かな表情を創出できます。

##### ■ 石垣のライトアップ



器具はガードを設置することで保護したり植栽を使うことで目立たなくなります。

### 3-9 小倉都心地区周辺エリア

にぎわいのある小倉都心地区と周辺の街を繋ぐエリアです。既に魅力的に彩られたオフィスビルがあるほか、ライトアップすることで魅力を増すポテンシャルを持つ施設も数多くあります。個々の建物の個性や魅力をあかりで彩り、あかりの折り重なりと広がりによる夜間景観づくりが望めます。

MEMO